

# シールドマシンが動き出します



一斉に発進ボタンを押し、シールドマシン(※)が動き始めました ※シールドマシン…地下トンネルを掘り進めるための掘削機

8月5日(日)、二日市東コミュニティセンターにおいて、高尾川地下河川築造工事発進式が行われ、福岡県小川洋知事をはじめ国・福岡県の関係者のほか、市内から筑紫野市議会、高尾川・鷺田川改修促進期成会の皆さんなど約120人が出席しました。

小川知事からは、昨年・今年の県内の豪雨災害から「河川の氾濫、浸水被害を見て、経験して、県民の皆様の安全安心を確保していくことの重要性を改めて痛感しております。早期完成に全力で取り組んでまいります」とあいさつがありました。

## 地下河川築造工事発進式に 関係者100人超が出席



「市民生活の安全安心を守るため、高尾川・鷺田川改修促進期成会とともに努めてまいります」とあいさつする藤田市長

また、県那珂県土整備事務所からは事業について、「現状の河川に沿った形状のため、蛇行を繰り返す地下トンネルは国内でも例が無く、非常に難しい工事となることが予想されますが、しっかりと取り組んでまいります」と説明がありました。

その後、地下を掘り進むシールドマシン(掘削機)の起動・発進セレモニーが行われ、発進ボタンを一齐に押すとシールドマシンが動き始めました。

セレモニーの後には、天拝勇太鼓の皆さんが激しく迫力のある演奏と元氣いっぱいソラン節を披露し、会場を盛り上げました。



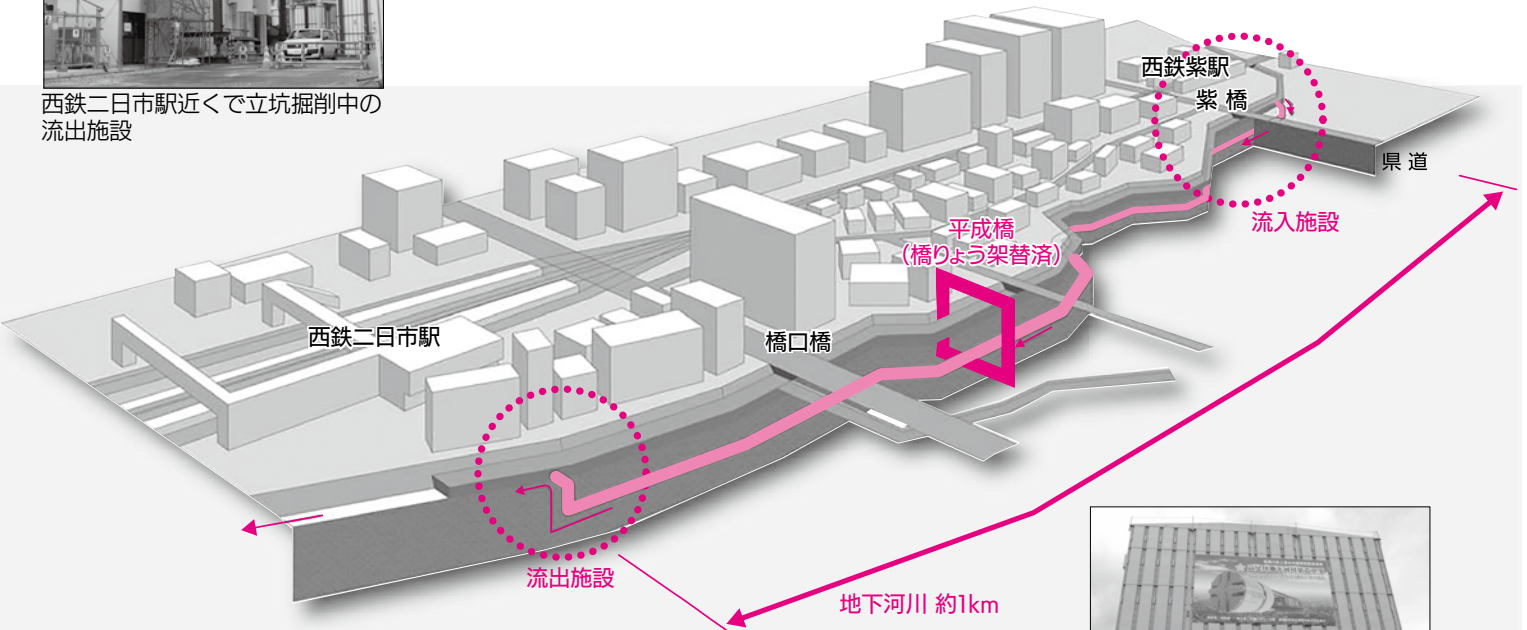
威勢のよい演奏で発進を祝った「天拝勇太鼓」の皆さん





西鉄二日市駅近くで立坑掘削中の流出施設

**地下河川イメージ図**



紫橋付近から西鉄二日市駅付近までの約1キロメートル区間に地下河川を築造することにより、床上浸水被害の解消を目指します。



紫橋近くの流入施設

**事業 高尾川床上浸水対策特別緊急**

市内二日市地域を流れる県営河川の高尾川は、大雨により氾濫し、たびたび浸水被害を起こしてきました。このことから、河川の抜本的な改修を目指して設立された高尾川・鷺田川改修促進期成会と県、市で連携し、国への要望活動を重ねてきました。

平成27年度には、国において高尾川床上浸水対策特別緊急事業が採択されました。

**高尾川地下河川築造工事**

高尾川の川底から約10メートル下に内径約5メートルの地下河川を新たに築造し、大雨などで河川からあふれた水を地下河川を通して、下流で再び合流させるほか、川の流れを阻害していた橋の架替などを行うことで、床上浸水被害の解消を目指します。

県那珂県土整備事務所により、平成27年度から31年度のおおむね5年間、約78億円の予算で実施しています。

「高尾川地下河川築造工事」は、その地下河川を掘削する工事です。

**立坑と立坑をつなぐシールドマシン**

事業の区間としては、県道筑紫野筑穂線の紫橋付近から西鉄二日市駅近くの市営自転車駐車場付近までの約1キロメートルの区間となります。

シールドマシンは、すでに完成している上流の流入施設の立坑から発進し、蛇行する川に沿って掘り進んでいきます。下流では流出施設の設置のため上流と同様に立坑の掘削を行っています。



地上から約20メートル下の立坑内で発進を待つシールドマシン